



# ヤマザクラ

2017 年(平成 29 年)1月 20 日(金)発行

## 新年にあたって

2019.1 理事長 木田章一

新年明けましておめでとうございます。

「ろうきん森の学校」の 1 期目（2005～2014 年）は、「森を育む」「人を育む」「森で遊ぶ」を活動の柱として事業を展開してまいりましたが、2 期目（2015～2024 年）は「森づくり」から始まる「人づくり・地域づくり」につなげる環境教育事業をさらに発展させていくことを目指しています。

当会も、この目的達成のために会員の皆さんとともに努力していきたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。

さて、新年にあたり昨年の主な活動を振り返ってみたいと思います。

2/7～8 うつくしま 21 森林づくりネットワーク主催の活動発表交流会が湯ノ岳山荘で開催され、本会からは「栗林跡地と海岸防災林の再生整備の取り組みについて」を発表した。

5～12 月 会津若松の NPO が湯ノ岳山荘において小学生を対象に 1 泊 2 日の合宿を 8 回行った自遊学キャンプの支援を行いました。小学生対象の合宿型自然体験活動のプログラムのため、いろいろと学ばせてもらいました。

9/20～29 国際ワークキャンプを湯ノ岳山荘を中心に実施。

【国際ワークキャンプとは、世界の若者達が共に生活しながら、住民たちと森林や畑の手入れ、祭りの運営、古民家の修理など地域で必要とされる活動に取り組む合宿型ボランティア活動です。】

11/13～19 国際ワークキャンプを台湾の大学生中心に実施。

11/26～27 福島大学のサークル「森人」のメンバーが森林のことについて学習するため湯ノ岳山荘に合宿した。

11 月～12 月（3 回）自然案内人養成基礎講座を実施した。

12/3 育樹祭開催、今年で栗園跡地での開催 2 年目、いわき市で見られるカエデの里にするべく 6 種類のカエデを植樹した。土曜日の開催は各種行事と重複することが多いため、今年の日曜日に変更予定。なお栗園跡地は、クヌギの薪炭林としても整備中です。

昨年、当会が活動資金の支援を受けている、労働金庫連合会が「第 5 回いきのにぎわい企業活動コンテスト」で国土緑化推進機構理事長賞を受賞しました。

受賞理由は、10 年継続して行ってきたことと、今後更に 10 年の継続を予定し、地域活動に貢献していることで、今後の当会活動の一層の励みになります。

「ろうきん森の学校」の 2 期目は、新たに新潟地区と岐阜地区が加わりました。

一昨年は新潟地区を訪れました。新潟地区は魚沼産コシヒカリの産地で有名な南魚沼市にあり限界集落、辻又地区(14 世帯、40 人)への若者が定住できる仕組みづくりを活動の柱としております。

昨年は岐阜地区を訪れました。岐阜地区は世界文化遺産になった美濃和紙で有名な美濃市にあり、隣接の岐阜県立森林文化アカデミーと連携（グリーンウッドワーク協会の代表は卒業生）し、間伐材や竹を利用した「森工塾（もっこうじゅく）」を定期的で開催しておりました。

この 2 地区の共通点は、地域住民と団体との連携の中でいろいろと活動を展開しているところです。

昨年、環境教育学習の学校支援にあたる会員が少なくなっていることから、当会設立時から数年実施していた「自然案内人養成講座」をしばらくぶりに、自然観察班とプログラム班とで「自然案内人養成基礎講座」として実施しましたが、今後も実施してまいりますので関心のある方は是非参加願います。

会員の皆さんの思いにより、山荘周辺の環境は年々よくなってきておりますが、一方、会員の高齢化が進んでおり、設立当時のような若い層ではなくなってきております。

つきましては、皆さんの希望等を活動に反映させて、会員の増加に努めていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

今年も「安全第一に楽しく」をモットーに活動していただくようお願いいたします。

活動写真

育樹際 12月3日(土)



餅つき 12/10 自遊学キャンプ



そば打ち体験 12/18 ろうきん森の学校

自然体験教室 (西郷子供会)	12
国際ワークキャンプ	11
自然観察班の活動報告	9
バランストンボ・止まり木作り	
秋の自然観察会&落ち葉カレンダー作り	
ミニ門松作り	
ろうきん森の学校	8
開催日	1平成28年11月20日 2平成28年12月18日 3平成29年1月15日
いわき自然案内人養成基礎講座	7
その他の活動 (いわき明星大学等)	
支援活動 (小学校等)	
プログラム勉強会グループ活動	6
木工クラフト班の活動	5
農作業 2016冬の活動報告	5
栗園跡地育樹祭	4
森林整備班の定例活動	
海岸林再生整備参加者	
森林整備班の活動	3
新年にあたって	1
理事長 木田章一	

目次 主な内容

P

# 森林整備班の活動

(伊藤)

## 1.森林整備班の定例活動一覧表(10/12~1/11)

月/日	曜	実施項目	参加人数
10/12	水	山荘周辺の整備(池周辺)	4
10/19	水	山荘周辺の草刈、杉苗木の手入	5
10/26	水	山荘周辺立木剪定材処理	5
11/2	水	山荘フィールドの刈払	4
11/5	土	育樹祭準備(苗木支柱切出)	3
11/9	水	育樹祭準備(植栽現場調査)	2
11/16	水	ワーキングキャンプ支援(下刈)	6
11/19	土	育樹祭準備(計画・支柱)	2
11/23	水	育樹祭準備(植樹箇所選定)	3
11/30	水	育樹祭準備(苗木運搬他)	3
12/3	土	育樹祭	—
12/7	水	山荘観察歩道の安全対策	5
12/17	土	山荘周辺も整備(チップパー)	2
12/21	水	池南斜面の整備	2
1/4	水	山荘周辺(観察歩道)安全巡視	2
1/7	土	山荘周辺のソメイヨシノ手入	3
1/11	水	伐倒木の枝のチップパー処理	4
計		稼働日数 17日	55

今回の活動は12/3(土)に開催された育樹祭の準備を主に活動でした。

フィールドの安全対策として、枯れ立木の伐倒・枯れ枝の除去及び山荘構内の整理を実施しました。フィールドでは何故か樹齢50年以上と思われるヤマザクラの枯れが目立つのが気になります。



12/7 フィールドの枯れた立木の伐倒処理作業

## 2.その他の森林づくり活動支援として

(支援者延べ35名、内容は下記の通り)

### ① ワーキングキャンプ

栗園跡地の整備下刈作業に11/4(月)、11/16

### ② 海岸林再生整備

地拵え、下刈り、植樹に10/29(土)、12/9(金)

### ③ 杉苗圃場

暴風ネットの設置に11/18(金)

### ④ 観察歩道の整備

栗園跡地へのコース整備に11/25(金)

(ふくしま・グリーンフォレスタいわき支部と合同)

### ⑤ 自遊学キャンプ(小学3~4年生)里山整備に11/6(日)



自遊学キャンプ参加児童の里山整備

## 3.海岸林の再生整備参加者数

(松崎)

(2016.10~12月)

月/日	整備内容	本会 トチギ	ボラン ティア	その 他	計
10/25	植樹	3	45	—	48
10/25	地拵え、下刈	3	13	—	16
10/26	地拵え、下刈	3	13	—	16
10/29	下刈	3	70	—	72
〃	地拵え、植樹	3	38	—	41
11/10	下刈、植樹	2	10	—	12
	下刈、地拵え、 植樹	2	8	—	10
11/22	整備場所調査	1	—	1	2
11/26	下刈、地拵え、 植樹	3	24	—	27
12/3	下刈、地拵え、 植樹	2	9	—	11
12/9	植樹	6	85	—	91
	下刈、地拵え、 植樹	2	6	—	8
12/12	植樹	4	51	—	55
計		40	435	1	476



12/9 植樹する栃木県木連川中学校の皆さん

## 栗園跡地育樹祭 (若森・伊藤)

今年も栗園跡地の一部をカエデの里にしようとカエデの植樹を含めた育樹祭を開催しました。

また、”森林とのきずなづくり植樹リレー”の一環としての開催でもありました。

- 1.開催日時 平成28年12月3日(土)  
9:00~12:00
- 2.場 所 栗園跡地
- 3.参加者 50名
- 4.実施内容

- (1) 植樹(カエデ)手配したカエデ(25本)
  - ・ハウチワカエデ:5本・カラコギカエデ:5本。
  - ・イタヤカエデ:5本・ヒナウチワカエデ:5本。
  - ・オオイタヤメイゲツ:5本。
- (2) 山荘で育てた苗木(30本)
  - ・イロハモミジ:11本・エンコウカエデ:5本。
  - ・ウリカエデ:9本・ウリハダカエデ:5本。
- (3) ケヤキ、クヌギ、ヤマザクラの下刈りと剪定
  - ・下刈りの面積:約0.25ha。
  - ・剪定(枝の整理)本数:36本
- (4) 会場までの移動について  
今回は山荘より徒歩で移動しました。コースは新観察コースのお披露目を兼ねて、プログラム勉強会メンバーの方々を担当案内しました。



”森林とのきずなづくり植樹リレー”セレモニー

\* 昨年の育樹祭で植樹したカエデの活着率は低く残念な結果でした。今年は林業専門技術員ある今井辰雄氏の指導を受けました。



今井氏の指導を受けてカエデを植樹



新観察コースで会場へ移動でした



下刈作業のスナップ



左は参加者の集合写真。

残念ながら小中学生等次代を担う人材の参加がありませんでした。

これは、土曜日はいろいろな行事が開催されることでした。次回からは日曜日開催が最適と思われると思います。

## 農作業 2016 年冬の活動報告

農作業班 太田 満

### 1. 苗の植え付け作業と野菜の収穫など

- ・タマネギ、ソラマメなど種から育てた苗を畑に定植しました。



11月14日にタマネギ苗(約千本)の定植作業

- ・収穫した野菜は、里芋、ダイコン、長ネギ、大蕪、白菜など。

### 2. 大量のもみ殻や落ち葉を畑に運搬しました

- ・毎年行っている、もみ殻と落ち葉の畑への搬入作業を行いました。
- ・もみ殻も落葉(落ち葉堆肥にして)も畑の土壌改良の目的に使用します。



12/5~12/12に軽トラ6台分の粉殻を搬入

### 3. その他

- 1) 収穫した里芋の一部を次の年の種イモ用に、ハウス内の土に埋めて保存しました。
- 2) 大蕪を収穫して、一部を千枚漬けに加工(加藤さん担当)しました。
- 3) テント倉庫内を大掃除し、燃えるゴミを南部清掃センターに出しました(軽トラ1台分)。  
また、劣化したブルーシートの代わりに新しいシートを張り替えました。
- 4) ブルーベリーの木の剪定、施肥を行いました。
- 5) 昨年からの落ち葉堆肥を崩して、畑にすき込む作業をしました。(中からカブト虫幼虫続出!)
- 6) 畑へのイノシシの侵入が一時みられたが、その後は見受けられず。
- 7) 各地主さん宅に収穫したさつまいも(5kg入り)を届けました(11/7)。

## 木工班の活動 (H28年10~12月)

桑原

木工班に今季新たに女性1人が加入して8名になり、総勢18人となりました。

今季に入り男性はヒノキ製椅子作りをしています、大作のためにまだ未完成です。写真-1は椅子の背もたれ部分の板を入れるところに角ノミを入れているところです。

女性は主にタイル貼りサイドテーブルを作成しました。写真は完成後に出来栄を見ているところです。

[定例活動は月第1、第3火曜日に実施]



写真-1 ヒノキ椅子作り



写真-2 完成したタイル貼りサイドテーブルを前に



完成したヒノキ椅子(これを目指して製作中です)

## プログラム勉強会グループの活動

佐藤烈

秋の分の活動報告です。

昨年は、「秋きぬと目にはさやかに見えねども風の音にぞ驚かぬ」と風の音で秋を感じた古人を紹介しましたが、今秋は観察会で丸山公園をめぐることが多くあり、鹿がよく「クーン」と鳴いてるのを聞き、「奥山に紅葉踏みわけ鳴く鹿の声きく時ぞ秋は悲しき」(猿丸太夫)の歌を思い出していました。

また新しい事業として、観察班とともに「いわき自然案内人養成基礎講座」を企画し、実施しました。

これについては、詳細を別に報告します。

### 1. 支援活動

この四半期は次のとおり学校等の支援を17回、その他の支援活動5回、合わせて22回の支援を行いました。

#### (1) 学校等における学習支援活動

(10/1～12/31)

月/日	小学校名	学年	学習	参加者	支援者
10/6	中央台北	4	総合学習	66	10
10/20	平6	3	総合学習	40	9
10/25	錦東	1	生活科	20	5
10/26	藤原幼稚園	年長	木工クラブ	23	5
10/28	綴小	1～6	森林環境学習	63	9
10/31	錦東	1	生活科	20	5
				43	
11/1	錦東	1	生活科	園児含	5
11/8	江名	2	生活科	21	7
11/10	中央台北	4	総合学習	66	10
11/14	江名	1	生活科	16	5
11/17	江名	2・1	生活科	38	8
11/18	綴小	5	森林環境学習	14	8
11/21	小川	1	生活科	22	6
11/24	小川	1	生活科	22	7
				25	
11/28	江名	1	生活科	園児含	6
12/8	平6	3	総合学習	39	10
12/15	錦東	3	総合学習	23	9
計	小学校・5校 幼稚園・1園			561	124

## (2) その他の支援活動

(10/1～12/31)

月/日	主催	対象	内容	参加者	支援者
10/15	青少年育成市民会議小名浜支部	親子	親子ハイキング	54	9
10/29	いわき明星大学	3年	自然体験プログラム	10	6
11/5	いわき明星大学	3年	自然体験プログラム	10	4
11/12	いわき明星大学	3年	自然体験プログラム	10	3
11/19	いわき明星大学	3年	自然体験プログラム	9	3

以下に11月18日に実施した綴小5年生の森林環境学習の支援の概要といわき明星大学の自然体験プログラムについて紹介します。

綴小は、従来秋に全学年湯ノ岳山荘での森林環境学習活動を実施してきましたが、今年度から5年生が間伐体験のメニューを追加しました。

当日、午前は自然観察を、特に手入れされた人工林とそうでないところ更に雑木林との違いを間伐体験に先立ち、見て理解することを中心にした。午後は、バンガローの南側の雑木林の間伐をおよそ1時間にわたって行った。間伐体験については、整備班のメンバーの方々にも全面的な支援をお願いしました。

子供たちは、はじめはどれを伐ったらよいか迷っていましたが、徐々に慣れてきて残すものと伐るものを自分なりに判別するようになりました。



(写真1) 綴小学校5年生による間伐体験

いわき明星大学の科学技術部3年生を対象にした自然体験プログラムは上表のとおり行われました。

内容は、植生、地質と土壌、水、自然体験活動の意義、安全対策それに案内板の活用などの座学による講義の他、毎回学校林を歩き自ら見て、聴いて、触って、嗅いで場合によっては味わいながらいろいろなことを感じ、そこから疑問を見つけ、その答えを自ら探すまさに、いま文科省が言い出しているアクティブラーニングを体験してもらっています。

これを自ら体験したのち、この講座の目的である自分以外の人に自然体験をとおして何をどのように伝えるか実践してもらいました。今年度は9人の学生に実践してもらいました。雨のため外ではできませんでしたが、対象者を具体的に想定し、いろいろな小道具を使いながら、ウィキペディアなどに掲載されている知識を一方的に説明する者はおらず、対話をうまく使い、上手なパフォーマンスでした。

ただ、残念ながらこの事業は今年で終わりになります。



(写真2) 明星大学最後の自然体験講座

## 2 その他の活動 (10~12月)

### (1) いわき明星大学の学校林の 管理及び整備

10月：4、11、18、25 支援者延8名

11月：8、15、22、29 支援者延8名

12月：5、12、21、26 支援者延8名

以上

## いわき自然案内人養成基礎講座

佐藤 烈

去る11月6日(日)、12月4日(日)それに12月11日(日)の3日間湯ノ岳山荘においていわき自然案内人養成基礎講座が開催されました。

これは、当会で自然体験活動をさらに充実して行くためには、その活動を推進するスタッフ(人材)が不足しており、スタッフ(人材)の

養成が急務であるとの認識に立ち、28年度の総会において提案され、了承されたものです。この決定に従い、秋から観察班のメンバーの全面的な協力を得て、日程、内容等を詰め、概要を役員会に諮り、新聞社に募集記事の掲載を依頼し、公募にこぎつけました。

結果的には新聞記事からの一般市民の応募はありませんでしたが、会員のロコミ等で6名の受講者がありました。

### 講座の内容について

- 座学については「いわきの植生について」と「野外体験における危険とその対策について」の2講座に絞り、それ以外は今回行わず今後時機を見てステップアップ研修を行うか またはOJTで、活動をとおして行うこととした。
- 講座の最終日に受講者が一人ずつガイドの実践をしてもらうことを最終目標とし、そのためにまず始めに、観察班のメンバー3人によるモデルガイドの実演を通して、案内人の役割とはどんなものか実感してもらい、次いで自分で実演する準備として素材探しとそれを使って伝えたいことをまとめ(テーマ)、一つのプログラムを作成して最後にはそれを他の受講者とスタッフの前で実演することとした。



ガイドの実践する受講者

### 結果と今後の課題について

- 受講者がガイドの実践をするという目標はハードルが高すぎるといった懸念が計画立案の過程でありましたが、スタッフは丹念にフォローすることに心掛け、また受講者も熱心に取り組まれた結果、予想以上の成果でした。
- 今回の講座開催については、概ね良好な結果が得られましたが、今後の課題としては、定期的なステップアップ研修を計画し実施することや次の講座開催にあたっては、受講者の募集方法について課題があるように思いました。 以上

# ろうきん森の学校 若森秀樹

(平成 28 年 11 月 20 日～平成 29 年 1 月 15 日)

## I. 平成 28 年 11 月 20 日 (日) (天候快晴)

### 1. 実施内容

①自然観察会、②キノコ勉強会③野外料理

2. 参加者 34 名

### 3. 実施結果

①自然観察会、②キノコ勉強会、

観察会は、栗園跡地の新コースと、湯の岳山荘観察コースの 2 班に分かれて実施。

紅葉シーズンたけなわ、新コースでは色々な種類のカエデや、きのこ、生き物を観察することができました。



紅葉のイロハモミジ以外にウリカエデ、ウリハダカエデ、エノコウカエデ、イタヤカエデが観察できました。



沢では生き物探し、カニを捕獲。その他のコースではカマキリの卵やリンドウの花を観察する事が出来ました。



キノコではナラタケとヒラタケのみ観察できました。今年はキノコは不作と思われます。

## II. 平成 28 年 12 月 18 日 (日) (天候快晴)

### 1. 実施内容

①自然観察会、②そば打ち体験・野外料理

2. 参加者 46 名

### 3. 実施結果

①自然観察会、

観察会は、初参加の家族を含む班と、大人だけの班の 2 班に分かれて実施でした。

冬としては暖かい日差しの中での観察でした。

木の実や冬芽観察、杉林と明るい紅葉樹の林の比較など冬特有の観察が出来ました。



冬芽の観察



②そば打ち体験・野外料理



そばは見事に出来上がり。その美味しさに皆さんビックリ。何時もながら大盛況の森の学校となりました。

### Ⅲ. 平成 29 年 1 月 15 日（日）（天候雪）

#### 1. 実施内容

- ① 自然観察会、② 餅つき③ 団子差し
- ④ 野外料理

#### 2. 参加者 23 名

#### 3. 実施結果

本年最初のろうきん森の学校。強い寒波襲来のなかでの活動となりました。

##### ① 然観察会、

今回は冬芽の構造、葉痕の観察をルーペで良く見て勉強しました。

##### ② 餅つき③ 団子差し（小正月の行事）



餅つき体験（ボクもワタシもお母さんもそしてお父さんまで初体験とのこと楽しい餅つきでした）。



ミズキの枝に紅白の餅（団子）をさし、色々な縁起物も飾付けて、出来上がりは山荘に掲げました。



##### ④ 野外料理

つきたて餅でアンコ・キナコ・納豆餅と多種のもち料理でした。とにかく美味しくいただきました。

自然観察班では一般の方々を対象とした「竹細工教室」と「自然観察会＆落ち葉カレンダー作り」そして「ミニ門松作り」を開催しました。その内容等について記載しましたので御覧ください。

竹細工教室 担当 佐藤（行）

### 「バランストンボ/止り木作り」

平成 28 年 10 月 29 日 9 時 30 分～12 時  
湯の岳山荘、森の工房において受講者 11 名でバランストンボ教室を行いました。

作業するには最高の天気に恵まれました 初めに小型ナイフの使い方、注意事項を説明、パーツの確認をする。

最初に羽根 4 枚作る 皆さん一生懸命に自分なりの羽根の形に慣れない小型ナイフを使いながら作りました。次に胴体の作業に入りました、やはり羽根よりも胴体を型づくりするのに苦労したようです。



#### バランストンボを作る受講生

最後は胴体に羽根を取り付けバランスを取り、良ければ瞬間接着剤塗布して完成 バランスが取れてるトンボを見て受講者みんなが拍手していました。

時間内に全員完成しました。誰一人、ケガなく終わることができました。



自慢のバランストンボ手に

## 秋の自然観察会&落ち葉のカレンダー作り

担当 猪村珠紀

1. 実施日時：平成28年11月27日（日）  
9時30分～12時
2. 実施場所：湯ノ岳山荘およびその周辺
3. 参加者：20名（大人13名 子供7名）
4. スタッフ：7名
5. 実施内容

あいにくの小雨の中でしたが まずは自然観察とカレンダーの素材探しを行いました。

家族単位の3グループに分かれそれぞれのコースに出かけました。

イロハモミジのトンネルやドウダンツツジの色鮮やかな紅葉に驚きの声を上げ ムラサキシキブやガマズミの実が彩る森の散策をしました。

湯ノ岳山荘に戻って 今度は「落ち葉のカレンダー」作りにチャレンジしました。

雨のため自然観察をしながらの落ち葉集めは出来ませんでした、事前に集めて置いた沢山の落葉をカレンダーに貼り付けて 個性豊かな「落ち葉のカレンダー」を作りました。



作り終えた作品の発表を1人ずつしてもらい感嘆や爆笑そして大きな拍手をもらって満足そうな笑顔を見せていました。

最後に 全員で出来上がった「自分だけのカレンダー」を手に 記念撮影をして無事終了する事が出来ました。



## ミニ門松作り

担当 桑原

12月25日（日）午前中に一般募集のミニ門松作りを行いました。

今年是一般募集により25人の出席者が集まり、当会のスタッフ8名の指導で実施しました。



作成上のポイントは真竹の斜め切りを美しく揃えて切ることで、治具を用いることにより皆さんが綺麗に作成できました。

それから今回より畳表を巻き付けて作成し、一段と素晴らしく作成することができました。



ミニ門松作り



出来上がったミニ門松を手に集合写真

門松は材料の良し悪しでその出来栄えに大きな影響を与えます。

特に竹がポイントとなります。今回真竹や孟宗竹の調達には竹プロ、金成公園里山づくり協議会の方々には大変お世話になりました御礼申しあげます。

# 国際ワーキングキャンプ

松崎

11月13日から11月19日までの1週間、9月に引き続き国際ワーキングキャンプをおこないました。今回は台湾の国立中央大学の学生を中心としたメンバーでした。台湾からは女子学生5名と先生等2名が参加リーダーは、千葉大の女子学生が担当しました。主な内容は次のとおりです。

月/日	午前	午後	夜	参加者		
				ワーキングキャンプ参加者	地元メンバー	計
11/13	—	—	21:00 山荘着 ミーティング	8	3	11
11/14	オリエンテーション 山荘フィールド視察	栗園跡地下刈り	地元メンバー との交流会	8	6	14
11/15	観察コース 下刈り (笹刈)	観察コース 下刈り (笹刈)	—	8	1	9
11/16	栗園跡地下刈り	栗園跡地下刈り	台湾の里山の状況 についての説明	8	6	14
11/17	湯ノ岳観察コース 歩道の整備	海岸林他見学	—	8	2	10
11/18	湯ノ岳間伐体験	湯ノ岳	振り返り	8	8	16
11/19	清掃 湯ノ岳出発	—	—	8	2	10

## 活動写真の一部



栗園跡地下刈り作業



台湾の里山の状況の説明



下刈作業を終えて参加者の写真



紅葉の山荘フィールドにて(紅葉が珍しい?)

## 自然体験教室

### 西郷子供会

若森秀樹

西郷子供会では湯ノ岳山荘にて自然体験教室を開催しました。本会では自然観察班、木工クラフト班メンバーを中心に、フィールドの散策・ネイチャーゲームそして木工クラフト等について支援しました。

- 1.開催日時 平成 28 年 10 月 30 日 (日)  
9:00~15:00
  - 2.参加者 合計 68 名 (子供 34、父兄 34 名)
  - 3.体験内容
- ① 自然散策、6 班編成で散策。



ひっつき虫などいろいろな植物、昆虫ではヨコヅナカメムシ・コガネグモ、酸っぱいガマズミを味わうなど秋の一日を楽しみました。

- ② ネイチャーゲーム



広場で綱引きやマツポックリ入れ等で楽しみました。

- ③ 木工クラフト



午後から木工クラフト。高学年はリユールシロホシ・低学年はカブトムシ・カスタネット・木の枝クラフトを製作、満足のような様子でした。

### 編集後記

大寒の文字通り、寒さが一段と厳しい毎日ですが、寒気を利用した食べ物（酒、味噌など）を仕込む「寒仕込み」に最も適した時期です。

森林整備班の活動は、皆様の目に直接触れることは少ないですが、利用している方たちの安全を守るために、寒さの中もくもくと作業を下さっています。

畑班では、土壌づくりをしっかりと行って、収穫の喜びに向けて準備が始まっています。

プログラム班は支援活動も充実し、会員のスキルアップやスタッフの充実をはかる試みにチャレンジしています。

木工班は、寒さもものともせず、着々と大作を製作し、個々の感性を楽しんでる様子が伝わってきます。

一人一人の活動がしっかり根付いて、今年もたくさんの方たちに山荘にお越しただけいたらうれしいです。

\*今号も伊藤さんにレイアウト、編集をいただきました。ありがとうございました。

鈴木 小百合

(発行) NPO 法人いわきの森に親しむ会  
(発行責任者) 木田章一 (編集担当者) 鈴木小百合  
(事務局) 〒972-8326 いわき市常磐藤原町湯ノ岳 2  
湯ノ岳山荘内

TEL/FAX 0246-44-3273

E-mail: yunodake@gray.plala.or.jp

HP: <http://iwaki-mori.jimdo.com/>